

市民参加推進計画に基づく  
令和6年度施策実施状況及び  
令和7年度施策実施計画

令和7年5月  
文化市民局

# 目 次

|    |                                                                    |    |
|----|--------------------------------------------------------------------|----|
| I  | 第3期京都市市民参加推進計画について                                                 | 1  |
| 1  | 概要                                                                 |    |
| 2  | 目指す未来像                                                             |    |
| 3  | 目指す地域社会の姿（ビジョン）                                                    |    |
| 4  | 基本方針と推進体制（運営方針）                                                    |    |
| 5  | 重視する視点と指標                                                          |    |
| II | 市民参加推進計画に基づく施策の令和6年度実施状況及び令和7年度実施計画                                |    |
| 1  | <span style="border: 1px solid black;">基本方針1</span> 市民との未来像・課題の共有  | 3  |
| 2  | <span style="border: 1px solid black;">基本方針2</span> 市民の市政への参加の推進   | 5  |
| 3  | <span style="border: 1px solid black;">基本方針3</span> 市民のまちづくり活動の活性化 | 8  |
| 4  | 計画を着実に進めるための推進体制                                                   | 11 |

## I 第3期京都市市民参加推進計画について

### 1 概要

第2期京都市市民参加推進計画改定版の成果や課題などを踏まえ、前計画の目指す未来像や基本方針を継承しながら、市民参加と協働の多様性をさらに高め、相互信頼の対話を深め、社会課題解決を次々と実現していくための新たな挑戦を重視し、「参加型・協働型の地域社会」のモデルとなることを目指して、第3期京都市市民参加推進計画を令和3年3月に策定した（計画期間：令和3年度～7年度）。

### 2 目指す未来像

参加と協働により、豊かで活力のある地域社会の実現

### 3 目指す地域社会の姿（ビジョン）

- ・ 京都に関わるあらゆる主体が、まちづくりにおけるそれぞれの役割を積極的に果たすとともに、相互に信頼し、対等の立場で知恵と力を出し合い、これまでの役割の範囲を超えて連携し、支え合い、挑戦している。
- ・ 包摂的で持続可能な協働のまちづくりや、地域コミュニティの活性化が進み、その成果をみんなで共有し、実感している。

### 4 基本方針と推進体制（運営方針）

#### (1) 基本方針・施策

京都市の市民力の向上に向け、3つの基本方針の下、13の施策を掲げている。

#### 基本方針1 市民との未来像・課題の共有

施策1：到達を重視する情報発信

施策2：信頼や学びにつながる「市民と職員との対話」の推進

施策3：共創のための「多様な主体の対話」の推進

#### 基本方針2 市民の市政への参加の推進

施策4：市政参加の機会の充実

施策5：誰もが参加しやすいデザイン

施策6：協働の成果や手ごたえの共有

施策7：次世代につながる市政参加

施策8：協働する市政分野の拡大と新たな挑戦

#### 基本方針3 市民のまちづくり活動の活性化

施策9：まちづくりに取り組むきっかけづくり

施策10：SDGsを背景とした多様な主体の参画促進

施策11：地域コミュニティ活性化への支援

施策12：持続可能なまちづくりを支援する仕組み

施策13：多様な主体の協働による社会課題解決への挑戦

## (2) 推進体制

取組 1 : 協働の成果の政策への反映、変革に挑戦する組織づくり

取組 2 : 最も身近な区役所・支所における協働を支援する役割

取組 3 : 市民参加を実践する職員の育成

## 5 重視する視点と指標

市民参加の取組の質を向上していくために、全ての政策分野、施策・事業を通じて重視すべき横断的な観点として「重視する視点」を掲げるとともに、その成果目標となる指標を設定する。

視点 1 : 「学び」や「信頼」をはぐくむ対話の推進

視点 2 : 次世代につながる市民参加の裾野の拡大

視点 3 : 協働による課題解決への挑戦

| 指 標                            | 目 標<br>(令和 7 年度末時点) | 実 績<br>(令和 6 年度末時点)  |
|--------------------------------|---------------------|----------------------|
| 対話の場への職員ファシリテーター派遣             | 延べ 500 名以上          | 537 名                |
| 対話の場への市民の参加者                   | 延べ 5,000 名以上        | 4,886 名              |
| まちづくり・お宝バンク取組提案数               | 500 件以上             | 486 件                |
| 公民連携・課題解決推進事業によるプロジェクト数（財政的効果） | 30 件以上<br>(1 億円以上)  | 113 件<br>(9,220 万円※) |
| プロジェクトを企画、立案、推進できる職員数          | 150 名以上             | 226 名                |

※令和 6 年度末時点の財政効果については、集計中のため、令和 5 年度末時点の金額を記載

## Ⅱ 市民参加推進計画に基づく施策の令和 6 年度実施状況及び令和 7 年度実施計画

### 1 基本方針 1 市民との未来像・課題の共有

#### 施策 1：到達を重視する情報発信

政策、施策、事業だけでなく、課題も含め、市政参加やまちづくりに興味を持つきっかけのために、あらゆる主体に向けて、必要な情報発信を行う。情報発信は、分かりやすさとともに、到達主義（届けたい対象にしっかり伝えること）を重視する。

##### <令和 6 年度施策実施状況（主な取組）>

- 「子どもを共に育む京都市民憲章」（通称：京都はぐくみ憲章）の実践（はぐくみアクション）の拡大に向けた取組の一環として、子育て応援インフルエンサーを任命するなど、SNS 等による子育て支援に関する情報発信を行った。（子ども若者はぐくみ局）
- 深草地域のマスコットキャラクターの「吉兆くん」による深草地域の PR として、SNS 等により、深草管内のイベント、深草地域の魅力及び深草地域で活動・活躍する団体等の情報発信を行った。（伏見区役所深草支所）

##### <令和 7 年度施策実施計画>

市民と行政が、自分ごと・みんなごととして未来像・課題を共有できるよう取り組むとともに、伝わりやすさやターゲットを意識した情報発信などの取組を推進する。

- すべての人に「居場所」と「出番」がある「突き抜ける世界都市 京都」の実現に資する本市施策について、様々な広報媒体で情報発信（総合企画局）
- 山科区公式 LINE による情報発信（山科区役所） など

#### 施策 2：信頼や学びにつながる「市民と職員との対話」の推進

未来像と課題を共有し、良い方向につなげていくために、お互いに抱える課題やこれから決めなければならないこと等も含めて、職員と市民が、互いに対等の立場で、未来志向の対話を行う。市民にとっても、職員にとっても、安心安全で話しやすい対話の機会づくりを推進する。

##### <令和 6 年度施策実施状況（主な取組）>

- 総合計画審議会や未来共創チーム会議の開催、ウェブ上の意見募集（12,376 件（2 月末時点））、各種イベントにおける意見募集（1,366 件（2 月末時点））等、幅広い市民の参画を得ながら、長期ビジョン（仮称）の策定に取り組んだ。（総合企画局）
- 市民対話型の市政を推進するため、市長や市職員が市民の皆さまと対話を行う市民対話会議を 29 回開催し、のべ 600 人以上の市民が参加した。（総合企画局※）

＜令和 7 年度施策実施計画＞

政策・方針等の検討段階からの市民意見の聴取や、市民と市職員との対話の機会づくりに積極的に取り組む。

- 長期ビジョン（仮称）の策定・推進に向けた取組（総合企画局）
- 地域学習会「しまつのこころ楽考（がっこう）」（環境政策局） など

**施策 3：共創のための「多様な主体の対話」の推進**

官民が連携して対等な立場で、未来像と課題を共有し、解決のために協働したり、新しい未来を共に創るために、行政だけでは解決できない取組や新しい挑戦を行う。そのために、多様な主体が、協働して、未来のために行動するきっかけとなる対話の場、情報共有の場をつくるオープンガバナンスを推進する。

＜令和 6 年度施策実施状況（主な取組）＞

- 「現場の声」を反映した実効性ある振興策の検討と企業間連携による新たなビジネスプランの創出を図る地域企業未来力創出コーディネート事業において、個別相談会や勉強会の実施により、企業間連携による新たな事業の創出を図った。（産業観光局）
- 山科区内で新しくまちづくり活動等にチャレンジをしようとする方に対して、補助金の交付や広報面での支援（採択件数：22 件）を行うとともに、申請されていない取組についても、次年度以降の取組につながるよう伴走支援を行った。（山科区役所）

＜令和 7 年度施策実施計画＞

多様な主体が自由に参加し、地域の課題やまちづくりについて対話する機会づくりや連携の促進を図るとともに、事業者等との連携や協働の実践に向けた支援に取り組む。

- 右京区民まちづくり交流拠点の運営（右京区役所）
- つなぐ・つながる「大原野」づくりプロジェクトの推進（西京区役所洛西支所） など

## 2 **基本方針 2** 市民の市政への参加の推進

### **施策 4：市政参加の機会の充実**

市政参加は、市民の権利であり、また、複雑多様化する社会課題の解決のためには、政策の形成段階から市民と行政が共に考えることが必要である。市政の分野の隅々まで、常に市民の知恵が反映される制度を充実させていく。

#### ＜令和 6 年度施策実施状況（主な取組）＞

- 山科・醍醐地域の魅力やポテンシャルを最大限活かし、あらゆる世代がワクワクするような山科・醍醐を、地域の皆様とともに目指すため、meetus 山科-醍醐推進本部を設置し、地域協働型の活性化プロジェクトに取り組み、令和 7 年 3 月に「meetus 山科-醍醐 みんなで創るまち PLAN」を発表した。（都市計画局、山科区役所、伏見区役所醍醐支所）

#### ＜令和 7 年度施策実施計画＞

政策の形成段階から市民と行政が共に考えることができる制度を運用するとともに、市民が継続的に参加できる場を設定し、市政参加の機会の充実を図る。

- パブリック・コメントの適切な運用（文化市民局）
- 「健康長寿のまち・北区」の推進（北区役所） など

### **施策 5：誰もが参加しやすいデザイン**

市政参加の裾野拡大のためには、市民視点に立ち、全ての方に参加してもらいやすい場や手法を工夫する必要がある、参加のハードルを下げることや、参加に楽しみや気軽さが生まれるデザインを考える。

#### ＜令和 6 年度施策実施状況（主な取組）＞

- 市民の皆さまに、市政やまちづくりに関する理解を深めていただくことを目的として、担当職員が出向いて説明を行う出前トークを 85 件開催し、約 2,300 人の市民が参加した（令和 7 年 5 月 1 日時点。出前トークの実施年度は 7 月～翌年 6 月）。（総合企画局※）
- 中京区の今後の自主的なまちづくりについてワークショップ形式で自由に話し合う中京マチビト Café を 3 回開催（参加者：のべ 145 人）し、まちづくりに関心のある人同士がつながり、自身の活動を広げるきっかけづくりとなる場を提供した。（中京区役所）

#### ＜令和 7 年度施策実施計画＞

市政参加の裾野拡大に向け、様々な要因で参加に制約のある方でも参加しやすいよう工夫するとともに、全ての人が気軽に参加できるよう取り組む。

- 下京こころのふれあいネットワーク事業（下京区役所）
- 伏見区民ふれあい事業（福祉のまち醍醐・交流大会）（伏見区役所醍醐支所）  
など

## **施策6：協働の成果や手ごたえの共有**

市政参加が継続的なものになるために、市民と行政がどのような過程で政策形成を進めたか、市民と行政の協働によって、どのような成果が生まれたかなど、共に手ごたえを実感できるようにする。

### **<令和6年度施策実施状況（主な取組）>**

- 民間事業者から様々な課題解決に資する提案を募集し、本市と民間事業者が互いの資源を持ち寄り、効果的な課題解決や新たなサービスを創出する「KYOTO CITY OPEN LABO」を運営し、47件の提案が成立した。（総合企画局）

### **<令和7年度施策実施計画>**

市民の市政参加に対する政策形成の過程の共有や、市民と行政の協働の実践に関する情報発信・成果の共有に取り組む。

- 長期ビジョン（仮称）の策定・推進に向けた取組（総合企画局）<再掲>
- 「市政参加とまちづくり」ポータルサイト「みんなでつくる京都」（文化市民局） など

## **施策7：次世代につながる市政参加**

多くの市民が社会に興味を持って参加し、市民と行政が良好な協力関係をもって未来を共に創るために、子どもや学生をはじめ、社会人、子育て世代など、次世代の地域社会を担う若い世代の市政参加を推進する。

### **<令和6年度施策実施状況（主な取組）>**

- 醍醐中央図書館で、子どもを対象にジュニアライブラリアン養成講座を、東山図書館で子ども司書養成講座を実施し、講座を修了したジュニアライブラリアン及び子ども司書は、それぞれの図書館の行事（絵本の読み聞かせ等）やPOP作成、本の選書等の事業に携わった。（教育委員会事務局）
- 左京区民ふれあい事業の企画・運営と一緒に取り組む若者（おおむね18歳以上35歳以下）を募集し、企画会議（全11回）及び各ふれあい事業（ふれあいまつり2024、ふれあいウォーキング、区民作品展）の当日の運営に参加いただいた。（左京区役所）

### **<令和7年度施策実施計画>**

若い世代の市政への参加・出番を増やすことで関心を高め、一層の市政参加につなげる。

- 学生と地域をつなぐ学まちコラボ事業（総合企画局）
- 京都版ミニ・ミュンヘン（子ども若者はぐくみ局） など

## **施策 8：協働する市政分野の拡大と新たな挑戦**

あらゆる市政分野において、事業等を実施するうえで市民意見を反映することはもとより、社会的な活動を推進する企業等事業者も含めた幅広い市民の知恵と力を最大限活用し、より効果的な事業等を推進する。

### **<令和 6 年度施策実施状況（主な取組）>**

- U35-KYOTO と連携し、「50 年後の京都に残したいもの」をテーマに、京都で活動する U35 世代を対象とした交流会を開催した。（総合企画局）

### **<令和 7 年度施策実施計画>**

市政の課題解決に多様な主体と共に取り組む機会づくりや、協働による課題解決に挑戦する。

- つなぎ手人材育成研修の実施（文化市民局）
- 地域資源を活かしたつながり・支え合い創出事業（文化市民局） など

### 3 **基本方針 3** 市民のまちづくり活動の活性化

#### **施策 9：まちづくりに取り組むきっかけづくり**

より多くの市民がまちづくりに興味を持って参加するために、参加のハードルを下げる、楽しさや意義を感じてもらい、ちょっとしたきっかけから自然と参加へつながるなどにより、参加の好循環を生み出す取組を行う。

##### ＜令和 6 年度施策実施状況（主な取組）＞

- 京都市公式 SNS により市政情報を発信しており、Facebook、X、LINE では、緊急情報等を最優先にタイムリーな情報をコンパクトに発信し、note では、市政に関する情報や市民の皆様のまちづくりの取組などを親しみやすい文章で発信した。（総合企画局）
- 京都市「市政参加とまちづくり」ポータルサイト「みんなでつくる京都」を通じて、本市の市民参加の考え方やパブリック・コメント、審議会等の市政参加に関する情報、まちづくり・お宝バンクをはじめとするまちづくり活動に関する情報発信（発信件数：86 件）を行った。（総合企画局※）

##### ＜令和 7 年度施策実施計画＞

「まちづくり活動の入口」となる参加や交流の機会の創出、まちづくり情報の発信に取り組む、市民のまちづくり活動を促進する。

- まちづくり活動等の活性化に向けた交流機会の創出（文化市民局）
- 「みっけ隊」アプリケーション（建設局） など

#### **施策 10：SDGs を背景とした多様な主体の参画促進**

2030 年を目標とした SDGs の達成のために、多様な主体が協力することが求められるなかで、これまでになく、企業や大学をはじめとした多くの主体が、社会活動、地域活動への意欲を高めている。地域の窓口である区役所・支所をはじめ各行政分野の部署とともに、行政はその意欲、提案を受けとめ、適切に政策とつなげるとともに、地域課題、社会課題とのマッチングや、様々な主体間のコーディネート等の役割を果たし、より多くの主体のまちづくり活動への参加を推進していく。

##### ＜令和 6 年度施策実施状況（主な取組）＞

- 行政機関・金融機関・関係団体との相互連携により、公と民が一体となって SDGs を強力に推進するきょうと SDGs ネットワークについて、実施主体同士での定期的な情報交換等を行うとともに、「第 2 回京都・地域企業勉強会」及び「未来を彩るフェア」を開催するなど、取組の深化や各種制度自体の発展を促進した。（総合企画局）
- 社会的課題を革新的な方法で解決する企業の成長支援や社会的企業や支援機関のネットワークを形成するソーシャル・イノベーション・クラスター創造成業において、承継者が自社変革への思いを発表し、参加者と対話しながらイノベーションを生み出すきっかけづくりを支援する事業や、企業や行政職員からの相談に基づくマッチングなどを実施した。（産業観光局）

#### <令和7年度施策実施計画>

SDGsの達成に向け、大学や民間事業者等と連携した取組の見える化や情報発信などの活動始めるきっかけづくりを進める。

- 京都産学公SDGsプロジェクト（総合企画局）
- 生物多様性ポータルサイト「京・生きものミュージアム」及びSNSによる情報発信（環境政策局） など

#### **施策11：地域コミュニティ活性化への支援**

担い手不足や新型コロナウイルス等の課題に直面する地域の様々な活動において、活力のある地域コミュニティをこれからも維持・継承していけるよう、住民同士のつながりづくりや地域活動への住民の参加促進、多様な主体と地域団体との連携など、地域コミュニティの活性化に向けて取り組む。

#### <令和6年度施策実施状況（主な取組）>

- 本市ごみ処理施設等の見学を通じて、暮らしに身近なごみ問題を見つめ直し、環境に配慮したライフスタイルを考えるきっかけとするためのエコバスツアーを実施した。（環境政策局）
- 子育て支援活動いきいきセンター（乳幼児親子のつどいの広場）を伏見区及び南区で新規開所するとともに、これまで一部の事業所でのみ実施していた地域支援の取組を、令和6年度から全ての事業所で実施した。（子ども若者はぐくみ局）

#### <令和7年度施策実施計画>

地域における市民同士の顔が見える関係構築や、地域活動に取り組む様々な主体の交流・連携を促進するとともに、地域の魅力向上にもつなげていく。

- 地域における新しいつながり創出支援事業（文化市民局）
- 地域資源を活かしたつながり・支え合い創出事業（文化市民局）<再掲> など

#### **施策12：持続可能なまちづくりを支援する仕組み**

担い手不足や新型コロナウイルス等の課題に直面する市民のまちづくり活動において、共に支援し合いながら、持続可能な取組となるために、行政の支援（コーディネート、財政での支援、人的支援等）と、市民同士で活動を支え、理解する社会全体の環境づくりの両方を推進する。

#### <令和6年度施策実施状況（主な取組）>

- 定住・移住応援団から提案された有効な定住・移住促進の取組を公民連携で実施（13件）した。また、応援団同士及び本市の連携促進と新たな事業創出を目的とした交流事業を開催するとともに、定住・移住応援団と各区が連携し、地域特性を踏まえた定住・移住促進に取り組むトライアル事業を、左京・中京・東山・山科の4区で実施した。（総合企画局）

- 各区社会福祉協議会に配置したコーディネーターの活動を通じて、多様な主体と連携し、地域特性に応じた高齢者を支える生活支援等サービスの創出や既存の地域資源（居場所等）のネットワーク化などの新たな活動展開を支援した。（保健福祉局）

<令和7年度施策実施計画>

まちづくり活動を持続可能なものとするために、実践に必要な支援を行うとともに市民同士や公民の更なる連携を図る。

- “みんなごと”のまちづくり推進事業「まちづくり・お宝バンク」（文化市民局）
- まちづくり活動等の活性化に向けた交流機会の創出（文化市民局）<再掲>など

**施策 13：多様な主体の協働による社会課題解決への挑戦**

多様化・複雑化した社会課題に簡単な正解はなく、市民によるまちづくり活動が、行政も対等なパートナーの一人として含んだ多様な主体と協働し、それぞれの知恵と力を出し合うことで、大きな成果や社会課題、地域課題の解決に近づくよう推進する。

<令和6年度施策実施状況（主な取組）>

- 京都がもっと良くなる・住みやすくなるまちづくりの取組提案を募集し、「まちづくり・お宝バンク」に登録・公開（新規23件）するとともに、情報発信や伴走支援など提案の実現に向けて取り組んだ。（総合企画局※）

<令和7年度施策実施計画>

市民や行政など多様な主体が交わる仕組みづくりに取り組むとともに、連携・協働して地域の課題解決の取組を支援する。

- 学生×地域×企業 京都未来人材育成プロジェクト（総合企画局）
- 地域資源を生かしたつながり・支え合い創出事業（文化市民局）<再掲>など

## 4 計画を着実に進めるための推進体制

### 取組 1：協働の成果の政策への反映、変革に挑戦する組織づくり

京都市の市民参加を一層進めるため、全庁的な市民参加に関するマネジメントを強化し、実践的な協働や公民の連携を進め、その成果を共有し、政策・施策への反映につなげる。

また、正解のない課題に取り組むためには、前例がない改革的な取組の試行や、成果の見えにくいことへの挑戦が必須となるため、失敗を恐れず挑戦できる組織風土の醸成に取り組む。

#### <令和6年度施策実施状況（主な取組）>

- 風通しの良い組織風土を一層醸成していくため、「Kyoto Mebuki Lab」において、「新しい公共」と「市民生活と観光の調和」をテーマに、庁内で公募した若手職員中心のチーム（6チーム、計30名）を設置し、有識者や先進都市等の多様な方の知見を取り入れながら、自由闊達な意見交換から施策の立案等を行った。（行財政局）
- 「新しい公共」推進プロジェクトチームを設置し、社会総がかりで課題解決に取り組み、すべての人に「居場所」と「出番」のある社会を目指す「新しい公共」の理念を広く共有するとともに、市民参加型行政をあらゆる分野で推進するため、市民対話会議などに取り組んだ。（総合企画局※）

#### <令和7年度施策実施計画>

市民と行政の協働を一層進めるために、改革的な取組に挑戦する組織風土の醸成や挑戦する機会づくりに取り組む。

- 職員相互の連帯感を深め、改革に向け協働する職場づくり（行財政局）
- 「聴く力・受け止める力・伝える力」向上のための研修（上下水道局）

など

### 取組 2：最も身近な区役所・支所における協働を支援する役割

区民に最も身近な行政機関である区役所・支所が、市民にとっての様々なまちづくりの入口となり、市政参加や協働のきっかけづくりや、まちづくり活動を継続するための支援、地域課題解決に向けた協働の促進など重要な役割を担っていく。顔の見える関係で、相談や提案、支援などの窓口としての機能を発揮する。

#### <令和6年度施策実施状況（主な取組）>

- まちづくりに意欲を有する職員が、組織の壁を超えて新たな取組を実践する京都まちづくりDAOにおいて、左京区民ふれあいまつりでのアンケートやインタビュー等による町内会ブースの盛り上げや、二条城とその周辺のまちづくりへの波及・相乗効果を目的とした地域の方とのコラボレーション企画などに取り組んだ。（文化市民局）

＜令和 7 年度施策実施計画＞

区役所・支所における協働を推進するため、地域の様々な主体が連携する場づくりや地域と連携した取組を進める仕組みづくりに取り組む。

- 地域資源を活かしたつながり・支え合い創出事業（文化市民局）＜再掲＞
- 下京みらい数珠つなぎプロジェクト（下京区役所） など

**取組 3：市民参加を実践する職員の育成**

市民参加をより一層推進するため、組織としてのマネジメント強化とともに、対話力・マネジメント力・コーディネート力を養うなど、職員一人一人の意識・能力向上に取り組む。また、多様な主体と協働する具体的な行政課題解決の取組の中での実践的な学びを重視し、社会的な活動、地域活動への参加も推奨する。

＜令和 6 年度施策実施状況（主な取組）＞

- 主に主任級以下の職員を対象としたスキルアップ研修において、「伝える力」に重点を置いた内容の研修を実施し、80 名の職員が受講した。（行財政局）
- 政策の形成、実施及び評価の過程における市民との対話の場の創出や、対話の場の創出に関する企画・運営支援を目的に、研修を通じて新たに 17 名の職員を「市民協働ファシリテーター」に任命するとともに、タウンミーティング等に、のべ 57 名のファシリテーターを派遣し、のべ 529 名の市民等が参加した。（総合企画局※）

＜令和 7 年度施策実施計画＞

市民参加の一層の推進に向け、市民や多様な主体との連携・協働に挑戦する職員の育成に取り組む。

- 京都まちづくり DAO（文化市民局）
- つなぎ手人材育成研修の実施（文化市民局）＜再掲＞ など

**（参考）**

＜令和 6 年度施策実施状況（主な取組）＞の欄に（総合企画局※）と記載がある取組は、令和 7 年度から文化市民局が所管している。